

九州民放くらぶ

宮崎

81

九州民放クラブ宮崎 〒880-8639 宮崎市橘通西 4-6-7 MRT宮崎放送総務部 TEL0985-25-3111

春号



田植えと山桜 (日南市東郷)

令和 4 年 3 月 16 日午前撮影

超早場米産地の県南では、山桜の開花時期に田植えが行われる。今年降水量が少ないため、日南ダムの貯水を放流している。作業は家族総出で行い、15cmに育ったコシヒカリの苗を田植え機に乗せて植え付け、7月中旬には収穫を迎える。

文・撮影 諸岩則俊

～ 目 次 ～

- 総会の中止について . . . 2
- 会員だより (檜元 洋、柴山惟紘、重信実男) . . . 2
- 会員だより (田中秀典、橋口徳蔵、諸岩則俊) . . . 3
- ゴルフ同好会 . . . 4
- 告知 . . . 4

総会の中止について

「令和 4 年度 九州民放クラブ宮崎 総会」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、開催を中止いたします。総会に代わり 5 月開催の理事会にて審議させて頂き、結果を皆様にご報告させて頂きたくといたします。

なおご提案、ご意見等ございましたら事務局までお知らせください。

新型コロナウイルスの県内新規感染者が増え続けています。今年初めの頃は落ち着きつつあるというところで、新年会も予定したのですが中止となりました。花見会も中止にしました。そして今、感染者は毎日前週の数を超えています。大型連休も間近なのに大変心配です。以前に比べ、死者、重症者は少ないようですが、抵抗力の落ちている我々高齢者は気を付けなければなりません。

事務局

会員だより

「ちいさな目」

桎元 洋 (MRT)

午後 4 時すぎ「人の話(わ)くらぶ佐智」で言語聴覚士によることばの訓練や、理学療法士による身体機能の訓練を終わり、送迎の時間になった。家まで佐智が車で送ってくれる。介護福祉士の A 子さんがハンドルを握った。その日はちよつと違うコースを通る、あれーと思っていると「わが家のアパートはあすこなんですよ」と A 子さん。A 子さんのお子さんがいた。ドアをあけてちよつと話しをしたあと、いつものコースをとおり返路した。

：その後のことだが、A 子さんのお子さんが、「お母さん、車で一緒だった人達がウチに来たときは、はじめにお茶菓子を出して、そのあとお茶を出すのよね」と聞いています。さすがにエライ！小学 5 年の女の子だけだ：さすがだ、と思った。時々佐智に来てしばし遊んでいるが「見るべきところは見てるな」と感心した。

歩むとは 生きる事、

柴山 惟紘 (MRT)

健康管理の一つに毎日 5000 歩弱のウォーキングを続けています。コースは自宅近くの県総合文化公園の外周を一周して、その後公園内の芝生を少々歩きます。長く続けていると何となく体の重い日もあり、又、軽やかに足が進む日もあり歩く事でその日の体調が分かるような気がします。

若い時のように体調が良い日ばかりではありません。最近、体力の衰えもさることながら「物忘れ・置き忘れ・しまい忘れ」の域に入ってしまったが、年相応に老けて行くことに無駄な抵抗はせず、むしろ年齢をしっかりと自覚する事が大事だと思うようになりました。

毎日のウォーキングも「今日も 5000 歩歩くんだ」と自分にノルマを課すのではなく、無理をせず歩数にこだわらず続ける事を心がけています。

「人は足に始まり足に終わる」と云われています。



「時代は繰り返す」

重信 実男 (UMK)

随分昔のこと。私が小学校 1 年の時に引越した。大淀小学校から戸小学校に変わった。当時の我家の住所は「高松通 2 丁目 8 番地」。県立宮崎病院の南側付近。現在は「北高松町」となっている。当時昭和 28 年は戦後から 8 年程しか経っていない。裕福な家は少なく、我が家も貧しかったと思うが、それは感じなかった。大工棟梁だった父は通いの職人を抱え、また母も子供 3 人、住み込みのお弟子さん 3、4 名の大世帯で大変だったと思う。

我が家の周りは小さな家が密集していたが唯一、我家の前の路地をはさんだ向かい側に邸宅を思わせる家があった。そこには 70 歳代のご主人と年の離れた元気のよい奥さん夫婦が住んでいた。長岡姓だったので私は「長岡のじいちゃん、ばあちゃん」と呼び、二人のお供でよく映画に連れて行ってもらっていた。

おじさんの日課が家前の路地の掃除であった。ほぼ毎日、夕方になると竹ぼうきで掃いていた。子供心に「じいちゃんは暇だな」と見ていた。私が高校生となり次に引越す時も掃き掃除は続いていた。

そして今、毎夕我家の前の駐車場を掃く自分がいる。

隣の家に、5〜6歳の時に引越して来て、この4月高校生となった可愛い女の子「美優ちゃん」がいるが、この子も私が掃除をするのを見て「おじさん暇だなー」と思っているのだろうか。顔を合わすと「こんにちは」と声をかけてくれる。



SAVE THE EARTH

〜未来の世代のために〜

田中 秀典 (UMK)

「時は巡り♪ また春が来ていつもと同じ景色・・・」と言いたいところですが、今、地球が病んでいます。

温暖化による自然災害の増加、森林伐採や海洋汚染など環境破壊は自然生態系へも及んで影響が及んできています。

この地球の危機に世界も取り組み始め、日本も2050年までの脱炭素社会の実現を目指しています。

微力ながら私も環境NPO「ひむかおひさまネットワーク」で活動しています。コロナ禍で思うように活動できませんが、自然エネルギー太陽光発電の普及啓発や子どもたちへの環境教室などを開いています。

待ったなしの温暖化防止！まずはライフスタイルの見直し、ゴミの減量と省エネ・節電がその第一歩です。車社会も近い将来、ガソリン車は姿を消し、電気自動車や水素自動車などへ大転換！

インターネットで社会が一変したように暮らしは変わっていきま

す。どのような暮らしが待ち受けているのか、これからの取り組みが未来を左右します。

叶わぬ夢ですが、地球の行く末を見てみたいものです。



旨いのに怖い？

橋口 徳蔵 (UMK)

「お酒は飲まれますか？」

「はい、まずビール350ml、ワイン1杯、焼酎2杯と：」

「え？ 毎日ですか?!」

「日本酒1杯、最後に強めの焼酎を少々」

ある病院での検査前の1コマです。10年来、ほぼこのペースで飲み続けています。

体力でさえ目に見えて弱っているのに肝臓、腎臓、血管が衰えなはずがない。

「〇〇病です。アルコールは禁止です」と、最後の審判が下る日が必ず来る。そういう想いが頭をよぎりながら、

今日も やっぱり おいしい。



「ツルへの思いやリルル」

諸岩 則俊 (UMK)

1万羽をこえるツルが飛来する鹿児島県の出水に3月初旬行ってきました。人家近くでこれだけ多くのツルが見られる場所は世界的にも珍しく、104ヘクタールの保護区では毎朝小麦がまかれて



出水のツル

2番穂と呼ばれる稲が実った周囲の田んぼから3時間ほど静かにウオッチング。ツルはこの稲穂が大好物、保護区を出て何と歩いて道路を渡ります。交通事故が心配されますが大丈夫です。ここではツルへのマナーが徹底、ツルの家族は停車した車の前を悠然と横断していました。行き交う車も皆スピードを落とし、ツルを思いやりながら運転、ツルは保護区外でも安心して過ごしているようです。世界に自慢したいこの思いやりルル、ツルを大事にしている出水の歴史を感じました。

ゴルフ同好会

今月4月号の全国会報「民放クラブ」の18ページをご覧ください。宮崎民放クラブの同好会を紹介しています。特にゴルフ同好会の活発な活動をPRしています。

※1月11日(火)参加者8名

ハイビスカスGC WP方式

優勝	小川光明 (NTV)	70・4
2位	柴山惟紘 (MRT)	74・8
3位	山下義夫 (MRT)	75・4
4位	橋口徳蔵 (UMK)	78・2
5位	重信実男 (UMK)	78・6

※2月2日(水)参加者11名

宮崎大淀CC WP方式

優勝	小川光明 (NTV)	74・2
2位	橋口徳蔵 (UMK)	74・4
3位	重信実男 (UMK)	76・8
4位	柴山惟紘 (MRT)	77・8
5位	榎木田実 (UMK)	78・0

※3月2日(水)参加者13名

愛和宮崎GC WP方式

優勝	大野高志 (MRT)	73・4
2位	原口俊幸 (MRT)	74・0
3位	小川光明 (NTV)	74・2
4位	柴山惟紘 (MRT)	77・2
5位	橋口徳蔵 (UMK)	77・8

今年度からハンディキャップ方式を、また始めました。好スコアを出すと上位になります。努力が反映され面白いです。

※4月6日(水)参加者12名

UMKCC ハンディキャップ方式

優勝	山下義夫 (MRT)	69
2位	田中秀典 (UMK)	69
3位	小川光明 (NTV)	70
4位	柴山惟紘 (MRT)	71
5位	石田農司 (UMK)	71
6位	榎木田実 (UMK)	71



3月2日 愛和宮崎GC

第一回 安井息軒企画展

郷土の偉人 安井息軒は江戸で三計塾を開いて2000人の門人を育て、日本の近代化に大きく貢献した。新発見の資料もあり、その偉業をわかりやすく広く市民に紹介する。

展示：三計の教えと息軒の墓碑（東京）

小中学校・公園・施設の息軒銅像、息軒球場と三計の橋
息軒の中学校教科書「読書余適」、「近世偉人伝」

日向朝写真 20点

期間：4月27日（水）～5月9日（月）※5月6日休館

諸岩則俊さんが「三計の教えと日向朝写真」をテーマに息軒企画展を開催します。

場所：宮崎市立図書館

2階ロビー

（花山手東3丁目25番地）

編集後記

「日向夏」はマンゴーに負けない宮崎の特産品です。我家でも食後のデザートとして出てきますが私も大好きな一品です。

私達の宮崎民放クラブには県外在住の会員さんが7名いらつしやいます。会報等でつながりはありますが、遠隔地ゆえにイベントや懇親会などに参加することはできません。そこで2年毎にわずかですが贈り物をしていきます。その贈り物が以前から「日向夏」なのです。会員さんからは「宮崎の味ありがとうございます」とお礼があり好評です。

(重)

「編集委員」

橋口義春・諸岩則俊
緒方輝文・重信実男

九州民放クラブ宮崎 連絡先

〒880-0014

宮崎市鶴島3丁目151

重信実男090-33322

15979

j.shigenobu@kve.biglobe.ne.jp